

東日本外壁仕上業協同組合(☎03-3374-3981)
近畿外壁仕上業協同組合(☎06-6533-0768)
福岡外壁仕上業協同組合(☎092-512-9141)

愛媛県仕上工事業協同組合(☎089-926-2067)
中国外壁仕上業協同組合(☎082-294-4878)

組織のメリット活かし需要取り込みを 当連合会が平成27年度通常総会開催

日本外壁仕上業協同組合連合会(野口陽一会長)は2月27日、午後、東京・千代田区のスクワール麹町において、通常総会を開催した。終了後、東日本外壁仕上業協同組合と合同で新年懇親会を行った。

総会では、平成26年度活動報告、決算報告、平成27年度事業計画、予算案が原案どおり可決された。

また、任期満了に伴う役員改選も行われ、再選の野口会長をはじめ別紙のとおり新役員が決定した。

総会後の5時30分から開かれた懇親会では、冒頭、野口会長が登壇し、「昨年は、大雪、台風、土砂災害、火山の噴火など、自然災害が多い年でした。日頃から防災意識を持つておくことが大切だとあらためて実感しました。建設業界は、消費税増税に伴う駆け込み需要で大変忙しい思いをし、その後景気も順調に回復するものと期待していましたが、増税後の消費の回復が遅れ、期待通りにはなっていません。ただ、12月の選挙で政権が再任され、アベノミクスの継続が決まってからは、公共工事を中心に仕事が出てきています。今後、円安を背景とした大企業の増益、それに伴う賃金上昇があれば、住宅関連の需要も増えてくるでしょう。我々としては、そうした中でいかにお客様を掴んでいくかが課題になります。当会が認定講習を行っている外壁仕上級技能者や登録外壁仕上基幹技能者などの資格、さらには建専連の長期性能保証制度などはその際



懇親会で挨拶する野口陽一会長



来賓を代表して挨拶する小侯一夫 NPO 法人湿式仕上技術センター顧問



挨拶と乾杯の発声をする岩田紳一副会長



挨拶と中締めを行う川口大介理事

の大きな武器になるものであり、それらのメリットを営業に活かしてほしいと思います。また、昨今の大きな課題である若年層技能労働者の減少については、業界において社会保険の加入が促進され、法定福利費の入った見積もりも浸透しつつあります。それがしっかりと形になれば、適性単価の確保、ひいては技能者の処遇向上につながってくるでしょう」と挨拶した。

次いで、来賓代表として、NPO法人湿式仕上技術センター顧問の小侯一夫氏が挨拶。小侯氏は、近年、国の住宅政策が量よりも質を重視するものへと変化しつつあり、住宅産業界でも品質にはより神経を使うように

なっていることを示した上で、「これからは、美しく、誰が見ても欠陥のない仕上げをするのが商売の最大のコツになります。技能者の皆さんはさらに技術を磨き、誰が見ても立派な仕上げをすることに専念し、一方で経営者の皆さんは技能者の数を増やすことに努力しなければなりません。オリンピックを控え、仕事量が増えるのは確実なので、それにうまく対応していただきたいと思います」と述べた。

続いて、岩田紳一副会長の乾杯の発声で開宴。景品の抽選会も行われるなど和やかな雰囲気で行われた懇親会は、7時30分過ぎ川口大介理事の中締めで盛会裡に散会となった。

また、当連合会では平成27年度の重点事業として、①登録基幹技能者を中心とする技能者育成に関する事業、②長期工事、性能保証事業の拡大、③会員増強に関する取り組み、④建設技能労働者の人材確保・育成の促進や社会保険未加入問題など様々な待遇改善への取り組み、⑤外壁仕上に関する啓蒙普及と情報提供——の5点を推進していくこととなった。

なお、新年度の役員は以下のとおり(敬称略)。
会長：野口陽一(日幸化学工業(株)／東日本組合副理事長)／副会長：岩田紳一(株)日興工業所／近畿組合理事長、池田稚夫(芦花建装(株)／東日本組合理事長)／専務理事：小野澤昭(NGS／事務局専従)／理事：西川岳人(明新工業(株)／東日本組合常

務理事)、高橋敦也(株)ワールド工業／東日本組合常務理事)、山崎陸治(山崎工業(株)／近畿組合副理事長)、實松幹次郎(松美化建工業(株)／近畿組合専務理事)、横谷英二(東大阪塗工(株)／近畿組合理事)、宮澤健一(株)ミヤザワ／近畿組合理事)、義野寛幸(新任・ぎの建築塗装商会／愛媛組合理事長)、池田貞伸(新任・竹林塗装(株)／愛媛組合理事長)、稲本和生(三共化学工業(株)／中国組合理事長)、川口大介(川口吹付工業(株)／福岡組合理事長)、草場芳里(クサバ工業(株)／福岡組合理事長)／理事相談役：甲斐下雄司(アイワ建装(株)／東日本組合相談役)／監事：草野廣勝(株)草野吹付工業／東日本組合監事)、加藤廣(有)加藤建材社／東日本組合常務理事)

相互扶助の精神で共に活動 近畿外壁仕上業協同組合が「2015新年の集い」

近畿外壁仕上業協同組合(岩田紳一理事長)は、1月22日午後5時より大阪市北区のウェスティンホテルにて「2015新年の集い」を開催した。冒頭、主催者を代表して岩田紳一理事長が挨拶した。席上、同氏は「本日はご多用の中、多くの皆様にご出席をいただきました誠に有難うございます。未年は歴史的にも偉人を輩出している年であり、チャンスの生まれる年でもあります。いわば、時代が動く年でもあります。本年もまた、組合の原点である相互扶助の精神のもと、皆様と共に頑張っていきたいと考えております。本年もご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます」と挨拶した。このあと、来賓を代表して横田荘司・大阪府中小企業団体中央会事務局次長が立ち、「アベノミクス効果による株高円安が進行しており、景気は大企業を中心に緩やかに回復基調にあると言われて

います。一方、収益の圧縮・人手不足など依然として中小企業を取り巻く環境は厳しいものがあります。昨年発足した第3次安倍内閣には大阪の中小企業の皆さんが景気回復を実感出き、元気になっていただけるよう、力強い景気対策がなされることを願っています。中央会としても国や大阪府の施策・予算の動向をしっかり把握し、情報を発信して参りたいと思っております。引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます」と挨拶した。来賓紹介、新入会員紹介(株)日進関西／山田稔社長)のあと、木村直樹・山本窯業化工(株)大阪支店次長による乾杯の発声で宴会となり、歓談後の7時30分過ぎ、宮澤健一専務理事の中締めで、盛会裡に閉会した。

なお、同新年会には会員、賛助会員、来賓を含め75名が出席した。

■ 40年の歴史をもつ全国組織です ■

日本外壁仕上業協同組合連合会(本部／東京都・会長 野口陽一：略称NGS)は、昭和42年に日本建築仕上材工業会の前身である日本防水シロイン工業会の施工部門が独立して設立された建築吹付工事の専門家組織です。今日、外壁仕上協同組合連合会所属の会員会社は、吹付・塗装を業務の核としながらも、屋根・防水・内装工事など幅広い事業展開をしており、時代が求める総合リフォームのプロ集団へと変貌を遂げつつあります。国土交通省の行政指導のもと以下の全国5地区に事務所を置く協同組合の連合体です。活動状況など詳しくは本部事務局または各組合同事局にお訊ね下さい。
□東日本外壁仕上業協同組合(理事長：池田稚夫)
□近畿外壁仕上業協同組合(理事長：岩田紳一)
□愛媛県仕上工業協同組合(理事長：義野寛幸)
□関西外壁仕上業協同組合(理事長：川口大介)
□中国外壁仕上業協同組合(理事長：稲本和生)

■ 登録外壁仕上基幹技能者を育成 ■

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設27業種35団体が整備された制度です。基幹技能者は、専門工事業種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけでなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材です。それゆえに、現場の事態に応じた的確な施工方法を技術者に提案することができ、関連業種との調整能力も発揮する人材です。

また、効率的な工事推進のための優れた現場管理能力・原価管理能力を有し、建設産業の労働生産性を高めることに資するようなできる人材です。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での熟練技能者、上級職長に位置付けられます。建設現場で働く技能者をリーダーシップをもって東へ、指示・指導しながら、優れた塗装・吹付工事を達成できるように努める人材です。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と3年以上の職長経験が必須となります。そのうえで、外壁仕上級技能者合格者または国土交通大臣優秀施工顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となります。

当該資格は、吹付塗装の分野における最上位資格であり、登録基幹技能者を指すことは、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きな目標となります。国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加点について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点を加点することを決定しています。国土交通大臣に登録をした機関が実施する登録基幹技能者講習を修了し試験に合格した者は、新たに経営事項審査で加点されることとなります。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていけるような制度も模索されており、基幹技能者への期待は拡大しつつあります。

日本外壁仕上業協同組合連合会は、国土交通省令(平成21年4月28日付)に基づき、基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として登録されました。講習は、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録建築塗装基幹技能者」の認定を行う講習会であり、当該資格を取得するためには、この講習を受け、試験に合格する必要があります。吹付・塗装分野に携わっておられる方は、積極的に登録外壁仕上基幹技能者試験の受験をお薦め致します。登録基幹技能者の具体的役割は、建設工事現場の要となる、上級職長等として、以下の役割を通じて効率的で生産性の高い工事を実施する者を指します。

1. 現場の状況に応じた施工方法、工程等の提案、調整等、2. 現場作業を効率的に行うための技能者の適切な役割分担等作業手順の決定、3. 他の技能者の施工に係わる指示、指導、4. 前工程・後工程に配慮した他の職長等との連絡調整。登録基幹技能者に必要な能力は、1. 吹付塗装の技術に熟達していること、2. 吹付塗装の技術に関連する知識、技術の進展等に対応していく力、3. 現場をまとめ、体系立った効率的な作業を実施するための管理能力、4. 塗装・吹付に携わる方。

■ 受験資格・手続き・経営審査 ■

平成14年～20年に外壁仕上基幹技能者に合格された旧基幹技能者の方は、制度が登録外壁仕上基幹技能者になるにあたり、特例講習を受講する必要があります。特例講習の実施は、2014年10月から24年3月まで完了となりました。